

令和7年度 蓮田ブランド推進協議会第2回会議録

開催日時	令和7年12月22日（月）午後1時30分～午後2時45分	
開会場所	蓮田市役所 202 会議室	
委員出席状況	会長 嶋田 清司 副会長 小林 謙二 委員 小林 央承 （欠席） 委員 田口 桐子 委員 加藤 達雄 委員 岡田 幸典 委員 西村恵美子 委員 時光 一郎 委員 今野 雅崇 委員 初野 尚久 （欠席）	（蓮田市） 倉田正彦 産業振興課主幹（司会） 星野抄織 産業振興課主事 オブザーバー 高橋良典 広報広聴課副主幹

会議内容

1 開 会 倉田産業振興課主幹司会進行（午後1時30分から）

2 会長あいさつ

3 議 題

「蓮田市公式 SNS の更新頻度について」「とかいなかNo.1 について」「その他」について

広報広聴課職員より、蓮田市公式 SNS について説明。

広報広聴課：蓮田市は、「X」、「LINE」、「Instagram」、「YouTube」の4つの SNS を運用している。令和6年度のペースより大幅に上回るペースで運営中。

●●委員：「Instagram」の登録者数が少ない。また、Instagramには、「はすぴい」のアカウントはないのか。

広報広聴課：「はすぴい」の Instagram のアカウントは、ない。アカウントは、「X」のみ。

●●委員：はすぴいを単独で PR したほうが良い。

●●委員：SNS の中で「Instagram」の発信回数がすくないと思う。

広報広聴課：担当課の方から発信依頼書をいただき、それを元に広報の方で手直しし、原課のチェックが入ったら投稿する。その依頼がないと SNS の活用につながらない。また、依頼がないと発信しづらい。

●●委員：SNS ごとの年齢層はどうか。

広報広聴課：特に把握はしてない。

●●委員：市内外の登録者数は、把握しているのか。

広報広聴課：把握なし

●●委員：どのリンクからホームページへアクセスしたのか、情報はとっているか。

広報広聴課：統計情報を見ればわかると思う。

●●委員：「TikTok」は、やっていないのか。

広報広聴課：やってない。投稿しない SNS がでてきてしまう。

●●委員：「YouTube」の再生回数で一番多いのは？

広報広聴課：3000 回くらい。(内容は、埼玉財政界のチャリティー歌謡祭の市長が出演した際のインタビュー)

●●委員：SNS の発信は、原課依頼のことだが、どこまで許容なのか。(課に紐づいた団体は許容しているのか)

広報広聴課：例えば、自治振興課は、自治会が管轄しているが、全自治体の発信依頼を許容するとパンクしてしまう。現状は外部団体からの発信依頼は受けていない。

●●委員：他の自治体のアカウントなどと相互フォローはしているのか。

広報広聴課：自治体のゆるキャラは相互フォローしている。個人とは相互フォローは、していない。

●●委員：課には、SNS の運用をする課の担当者は何人か。

広報広聴課：課の人数は、課長プラス 5 名だが、SNS は 3 名で回している。
「LINE」担当、「X」・「Instagram」担当は順繰りやっている。「YouTube」は、特に担当を設けていないが、編集者できるのが 2 名。

●●委員：「YouTube」の編集等を外注できないのか。

広報広聴課：無料で外注は無理。広報広聴課の職員に知識をつけてもらうことが優先。

●●委員：前回の会議で、SNS を使って「とかいなか NO.1」を発信していくという話だが、各委員からその意見について伺いたい。

●●委員：若い年代に YouTuber を目指している人がたくさんいる。そういう人は、自分で動画を撮り・編集・投稿する等やっている。数年前に、黒浜南小学校の児童も授業の一環で市内の公園を撮り投稿している。「蓮田市」に関する動画が出てこない。

●●委員：市の公式 SNS を運営している人数が少ない。市のイベントやはすぴいが踊っている動画等を投稿して PR していくとよい。

●●委員：インターネットの情報がでてこない。ブランド推進の観点から、ユーザーなど

をうまく活用することができると思う。

- 委員 : YouTube 等の投稿に対してコメント機能等でコミュニケーションする。また、「とかいなか指数」を作ってみる。
- 委員 : 「とかいなか」のブランド価値をどうするのか。最初はどのような路線でやっていこうか等の方向付けは必要と思う。
- 委員 : 市公式の Instagram の投稿数が少ない。姉妹都市があるなら、SNS のチラシを送ってフォローしてもらおう。
- 委員 : 行政が運用する SNS は、どうしても縦割りの部分があり、信頼がある分に慎重にならざるを得ない部分があると思う。
- 委員 : SNS を発信するなら新しいアカウントを作るのが良い。だれが管理をするのかという課題も出てくると思うが、残り一回の会議で整理をし、次期も続いて行くため、今期は、肥料をまいて土壌づくりをやりたい。
また、SNS の活用という点でいうと、「とかいなか 100 景」(100 景だと多いならスケールダウンして 30 景くらい) というのもありだと思う。ただ自由な発信と、行政としてのルールバランスを取りつつ、どんな形で展開していけるのかという答えを、協議体として出す必要があると感じた。これについては事務局の宿題になるが、どんな形で SNS を展開できそうか(市の公式に乗っかっていくのか、独自に運営するのか等) という糸口を第 3 回の会議で資料を事前資料として皆さんに配布できれば、当日その資料を持ってこういう形ならできそうだとか、こんな形ならできそうだとかっていう提案をやっていきたい。

(3) その他について

事務局より次回の会議日程(2月26日)、について案内。

7 閉 会 小林副会長の閉会挨拶により閉会(午後2時45分)